

四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校

新座市立第四中学校学校だより 令和7年4月8日 第1号

TEL 048-477-6053 URL www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon



学校教育目標の具現化に向けて

校長 大井 敏彰

【入学・進級おめでとうございます】

正門両脇の満開の桜に迎えられ、令和7年度が始まりました。校長室から窓の外を眺めると、柳瀬川沿いにも桜が並び立ち、華やかな開放感を感じます。

私はこの4月に校長として着任しました 大井 敏彰 (おおいとしあき) でございます。4年間、この第四中学校を力強くけん引された 鮫島 弘樹 前校長から襷を引き継ぎました。久し振りの中学校勤務に身の引き締まる思いですが、四中生のため、教職員のため、そして保護者地域のため、第四中学校の教育活動がさらに充実するよう努めてまいります。よろしく願いいたします。

本日、新1年生164名が入学し、全生徒数484名、17学級でスタートしました。保護者の皆様におかれましては、お子様の御入学・御進級、心よりお祝い申し上げます。

【学校教育目標を読み解く】

学校教育目標

「夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校」

- 自ら学ぶ生徒
- 心豊かな生徒
- たくましい生徒

私は、本校に受け継がれている「学校教育目標」を次のように捉えました。

「夢に向かって」

→成長のベクトルを自覚する

「人生の基礎を築き」

→将来のための学びを深める

「大きな翼を育む」

→社会で活躍するための自信をもつ

2022年に経済産業省が発表したデータによると、「将来の夢を持っている」と答えた18歳未満の子供が日本は60%しかいなかったそうです。他国は80~90%を示す中、このデータから日本の大きな課題が読み取れます。

その一方、エリクソンの発達段階によると、中学生から高校生にかけて「アイデンティティを確立する時期」とされ、自分を客観視できるようになり、自分とは何者かを考えるようになります。そのため、勉強や友人関係など様々な悩みを抱え、葛藤することも多くなります。

このような難しい年頃だからこそ、夢をもち、夢に向かって、様々な課題や困難を乗り越えながら成長することが大切です。たとえ夢が見つかっていなくても、中学校生活の中で自分を知り、自分の強みや弱みに気付きながら、自分は何がしたいのか、どのような大人になりたいか、自分が成長するベクトル(≡方向性)を自覚することも大切なことだと考えます。

このような考えに基づき、生徒一人一人の成長を支援するため、教職員一丸(チーム四中)となって、生徒の主体性を尊重しながら、将来のための学びを深め、社会で活躍するための自信を育てていきたいと思います。そうすることで、学校教育目標の具現化に努めてまいります。

これから1年間、どうぞよろしくお願いいたします。